

## チュウガタコガネグモ

*Argiope boesenbergi* Levi

新蛛亜目  
METATHELAE  
コガネグモ科  
Araneidae

### カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 水田周辺，林縁部で1980年ごろから急速な減少が見られる。水田の畔などに多かったが，コガネグモと共に減少中。

**県内分布** ほぼ県内全域

**分布域** 本州中部以南 四国 九州 南西諸島

**生息環境** 草原，林縁部袖群落，農耕地周辺の草地などに造網。

**現 状** 1985年ごろから，水田周辺部でもまれになり，大分市西北西山麓部に限って少数個体の生息が例年認められる程度になった。

## コガネグモ

*Argiope amoena* L.Koch

新蛛亜目  
METATHELAE  
コガネグモ科  
Araneidae

### カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 全県下で1980年初頭ごろから急減。1985年ごろには県下の目撃率はゼロに近くなったが，1992年ごろから徐々に回復し，目撃率4%程度に回復したものの，宅地造成，観光開発のための施設建造などによる環境条件変化により，生息域が再び狭小化している。

**県内分布** ほぼ県内全域

**分布域** 本州中部以南 四国 九州 南西諸島

**生息環境** トキワススキ，メダケなどの草間に造網，民家の軒先にも造網。

**現 状** 都市化された郊外部から都市中心部では生息例がない。

**備 考** 1950年ごろまでは，コガネグモを用いたクモ合戦は，日豊海岸沿岸地域で普通に行われていた。

## タニマノドヨウグモ

*Metleucauge kompirensis*  
(Bos. & Str.)

新蛛亜目  
METATHELAE  
コガネグモ科  
Araneidae

### カテゴリー

大分県 準  
環境庁 掲載なし

**選定理由** 1985年頃から次第に個体数が減少し，各水系ともに6～8月に2～3個体しか見られない状態になっている。河川工事により，兩岸河畔林の伐開と河川水面上空間部の人為的開放が原因と思われる。

**県内分布** 山国川水系，院内川水系，深見川水系，阿蘇野川水系，由布川水系，平井川水系，奥嶽川水系，番匠川水系などの河川上流部溪谷

**分布域** 国内全域

**生息環境** 谷川の兩岸の植生樹林を利用して，谷川の水面上1～4m程度の空間に大きな水平円網を張る。

**現 状** 生息水系では極めて少ない個体数となっている。